

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

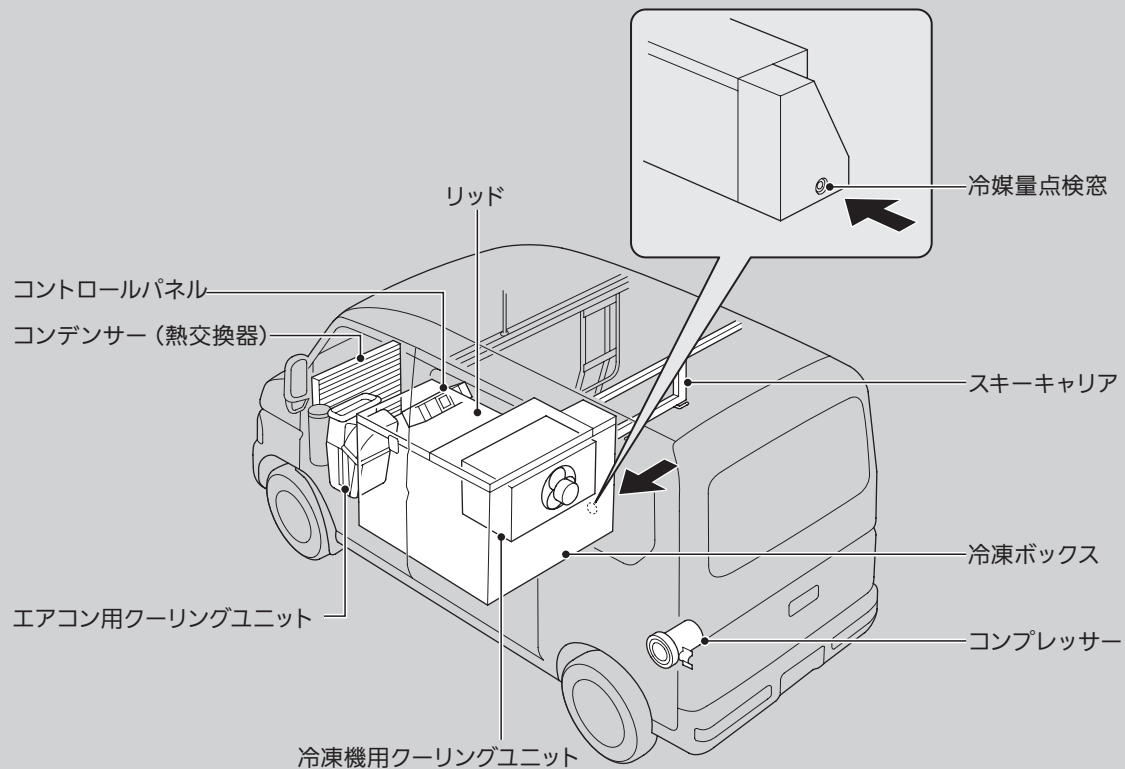
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

✧ : タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

目次

各部の名称.....	2	万一の場合には	
装備の使いかた		工具の種類.....	20
冷凍ボックス使用時の注意	3	スペアタイヤ.....	20
冷凍ボックス	5	冷凍機が作動しないとき	22
冷凍機.....	6	資料	
スキーキャリア	15	仕様	24
アクセサリースOCKET	16	最適輸送温度	26
点検整備について			
冷凍機の点検.....	17		
日常のお手入れ.....	19		

各部の名称



冷凍ボックス使用時の注意

冷凍ボックスを使用するときは、下記の点に注意してください。

- 駐停車は日陰で行う
 - ▶ 冷凍ボックスには断熱材が入っていますが、直射日光の下で長時間駐停車すると冷凍ボックスの温度上昇につながります。
- 荷物の出し入れは迅速に行う
- 駐停車時は必要なとき以外にエアコンやライト類を使用しない
 - ▶ 冷凍機は消費電力が大きいので、バッテリーあがりの原因となります。
- 高負荷連続運転に注意する
 - ▶ 夏場などは、エアコンと冷凍機の同時運転はエンジンやコンプレッサーに大きな負荷がかかります。
高水温警告灯が点滅または、点灯したときは、エアコンを切るか安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。
- SRS エアバックは運転席のみ作動します。

■ 冷凍ボックス使用時の注意



注意

濡れた手で作業しない。

冷えた冷凍ボックス内壁・荷物や冷凍装置により凍傷のおそれがあります。

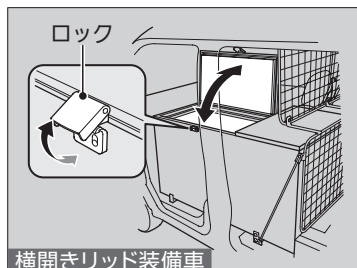
■ 冷凍ボックスに荷物を積むときは

冷凍ボックスに荷物を積むときは、下記の点に注意してください。

- 引火しやすい物はいれない
 - ▶ 火災の原因になります。
- 冷凍（0° C 以下での）使用時は、液体の入ったビン類はいれない
 - ▶ 中身が凍って破裂するおそれがあります。
- 必ずスノコを使用する
 - ▶ 冷凍ボックス内の傷付きと冷却効果の低下を防止します。
- 荷物を積む前に冷凍ボックス内を冷やす
 - ▶ 冷凍ボックス内が必要温度に冷える前に荷物を積み込むと、荷物の温度が上昇します。
- 適温に冷やした荷物を積む
- 冷気がスムーズに循環するように積む
 - ▶ 冷気がスムーズに循環するようにすき間を開けてください。

冷凍ボックス

■ 開閉

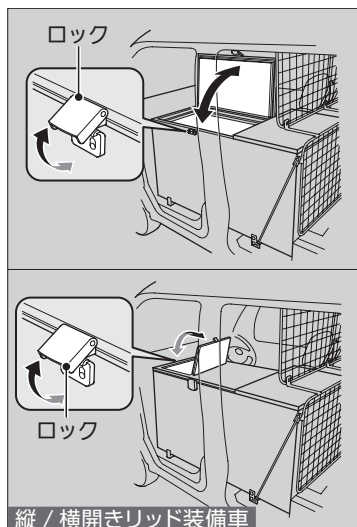


■ 開けるとき

ロックを引き上げながらリッドを開けます。

■ 閉めるとき

リッドを閉めロックを確実に戻します。



☒ 開閉

⚠ 注意

リッドを操作するときは手などをはさまないように注意する。

リッドは確実に閉める。

冷房効果が低下するだけでなく、走行中にリッドが開き視界の妨げとなります。

リッドの開閉は静かに行ってください。

勢いよく開閉すると、ロックが破損するおそれがあります。

横開きリッド装備車

リッドの開閉操作は助手席ドア側から行ってください。開閉時に手をはさんだり、ロック誤操作によりロックやヒンジを破損するおそれがあります。

縦 / 横開きリッド装備車

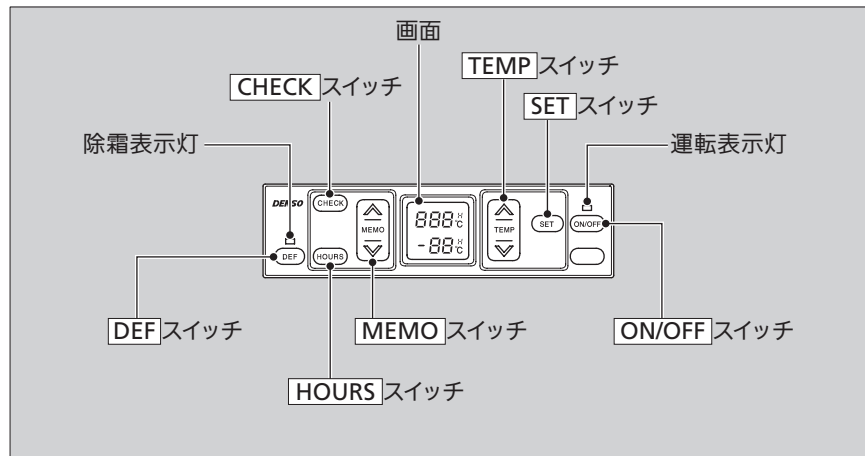
縦 / 横開きリッドの同時操作は行わないでください。必ず片方のリッドがロックしていることを確認してから操作してください。開閉時に手をはさんだりロックやヒンジを破損するおそれがあります。

温度変化により冷凍ボックスからきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

冷凍機

エンジンをかけた状態で使用します。

エンジンスイッチをⅡにすると、画面に冷凍ボックス内温度が表示されます。



■ 冷凍機

⚠ 注意

冷凍機用クーリングユニットの裏側に手や棒などを入れない。

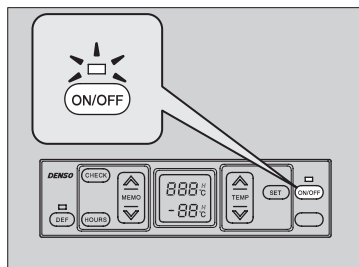
冷凍機の[ON/OFF]スイッチが ON のとき、ファンが回転してけがや故障の原因となります。

エンジンを始動するときは、冷凍機の[ON/OFF]を OFF にしてください。
エンジンの始動がしやすくなります。

エアコンの冷房性能は冷凍機非装備車と比べて下回ります。エアコンと冷凍機を同時に運転するときは、エアコンを内気循環で使用してください。ただし、内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになることがありますので、ときどき外気導入にして窓ガラスが曇らないようにしてください。
内外気の切り換えについては、ACTY VAN オーナーズマニュアルをご覧ください。

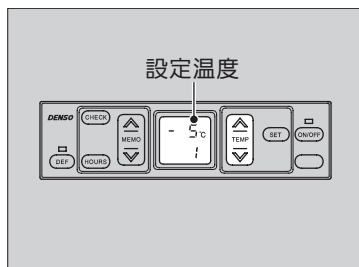
標準のエアコン装備車に比べて冷凍機の作動音は大きめです。

■ 冷凍ボックス内の冷やしかた



1. エンジンを十分に暖機する。
2. **ON/OFF**を押す。
 - ▶ 冷凍機が作動します。
冷凍ボックス内温度が設定温度になると冷凍機は停止します。その後、冷凍ボックス内温度が上昇すると、自動的に作動を再開します。
 - ▶ もう一度**ON/OFF**を押すと、冷凍機が停止します。

■ 設定温度を表示するには



- TEMP**の $\triangle$ / ∇ どちらかを押す。
- ▶ 約 5 秒間画面に設定温度が表示され、その後、冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

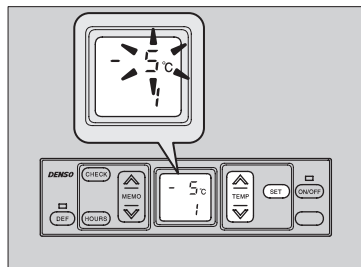
■ 冷凍ボックス内の冷やしかた

冷凍ボックス内の温度は、画面に表示されます。

ON/OFFを ON にすると、冷凍機は前回の設定温度で作動します。
設定温度を確認するときは、**TEMP**の $\triangle$ / ∇ どちらかを押します。

冷凍機は消費電力が大きいので**ON/OFF**を OFF にしてからエンジンを停止してください。
バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

■ 設定温度を変更するとき

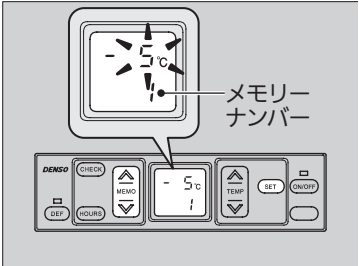


1. **TEMP** の  /  どちらかを押す。
▶ 画面に設定温度が表示されます。
2. もう一度 **TEMP** の  /  どちらかを押す。
▶ 画面の温度表示が点滅に変わります。
3. **TEMP** の  /  を押して設定温度を変更する。
4. **SET** を押す。
▶ 設定温度が変更されます。
約 5 秒間画面に設定温度が表示され、その後、冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

■ 設定温度を変更するとき

約 5 秒間有効なスイッチ操作が行われない場合は、冷凍ボックス内温度設定変更モードが解除され冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

■ 設定温度メモリーの使いかた



1. **MEMO**の $\triangle$ / ∇ どちらかを押す。
▶ 画面に現在の設定温度が表示されます。
2. もう一度**MEMO**の $\triangle$ / ∇ どちらかを押す。
▶ 画面の設定温度が点滅します。スイッチを押すごとにメモリーナンバーが切り換わり、各メモリーナンバーに記憶された設定温度が表示されます。
3. 1～3の希望のメモリーナンバーを選び、**SET**を押す。
▶ 設定温度が変更されます。

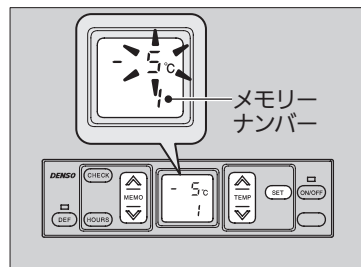
工場出荷時の設定温度は次の通りです。

温度帯モード	設定温度範囲	初期設定温度		
		メモリー 1	メモリー 2	メモリー 3
低温	-22 ～ 35℃	-20℃	-20℃	-0℃

■ 設定温度メモリーの使いかた

約5秒間有効なスイッチ操作が行われない場合は、冷凍ボックス内温度設定変更モードが解除され冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

■ メモリーに記憶されている設定温度を変更するとき

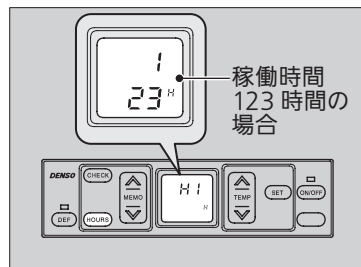


1. **MEMO** を押し、設定温度を変更したいメモリーナンバーを画面に表示させる。
2. **TEMP** の / どちらかを押す。
▶ 画面の設定温度表示が点滅に変わります。
3. **TEMP** の / を押して設定温度を変更する。
4. **SET** を押す。
▶ 設定温度が変更されます。
約 5 秒間画面に設定温度が表示され、その後、冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

■ メモリーに記憶されている設定温度を変更するとき

約 5 秒間有効なスイッチ操作が行われない場合は、冷凍ボックス内温度設定変更モードが解除され冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

■ 稼働時間を表示するには



1. **HOURS** を約 3 秒続けて押す。
▶ 画面に H1_H と表示され、約 2 秒後に稼働時間表示に切り換わります。
2. 稼働時間を表示しているときに **MEMO** を押す。
▶ H1 から H8 の表示記号が表示され、約 2 秒後にそれぞれの稼働時間が表示されます。

表示順序	表示記号	表示内容
1	H1	メイン電源 ON 時間
2	H2	「0」表示 (機能なし)
3	H3	メインコンプレッサークラッチ稼働時間
4	H4	「0」表示 (機能なし)
5	H5	冷凍クーリングファンモーター稼働時間
6	H6	コンデンサーモーター稼働時間
7	H7	「0」表示 (機能なし)
8	H8	「0」表示 (機能なし)

■ 稼働時間を表示するには

約 10 秒間有効なスイッチ操作が行われない場合は、稼働時間表示モードが解除され冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

■ 霜取り

冷凍機用クーリングユニットに霜が付くと冷却効果が急速に低下します。
設定温度より冷凍ボックス内温度が上昇してきたときは、冷凍機用クーリングユニットを点検し、フィン間隔の約半分にわたり霜が付いている場合は、霜取りを行ってください。

■ 自動による霜取り

通常はタイマーにより、約 1 時間間隔で自動的に除霜運転になります。
霜取りが終わると自動的に冷凍運転に戻ります。

■ 手動による霜取り

冷凍機が ON のときに **DEF** を押します。
霜取りが終わると自動的に冷凍運転に戻ります。

■ 霜取り

冷凍ボックス内温度が 0° C 以下でないと除霜は作動しません。
除霜運転中は除霜表示灯が点灯します。

■ 運転表示灯が点滅したとき

コントロールパネルの運転表示灯が点滅したときは、冷凍機の異常が考えられますので、本田技研工業(株)法人営業部指定の保守店または(株)デンソー指定のサービスステーションで点検を受けてください。

夜間、休日のお問い合わせ先

(株)デンソーコールセンター フリーダイヤル 0120 - 687 - 010

保守店がご不明なときは、本田技研工業(株)法人営業部納車サービスセンター 048 - 452 - 0248 へお問い合わせください。

■ 運転表示灯が点滅したとき

エンジンスイッチを[II]にしたとき、画面に冷凍ボックス内温度が表示されていれば、冷凍機は正常です。

■ 故障診断のしかた

エンジンスイッチを **II** にします。

CHECK を押すと、画面に故障内容が表示されます。

複数の故障がある場合は、**MEMO** の  /  どちらかを押すと、画面に順次異常コードが表示されます。異常コード表示の最後は「—」が表示されます。

画面	運転表示灯	故障内容	冷凍機状態
—	点灯	—	正常
F4	点滅	冷凍ボックス内ファン ヒューズ (10A) の断線	運転継続または運転 停止 (全部断線)
F12	点滅	ラジエターファンチェック ヒューズ (7.5A) の断線	運転継続
E1	点滅	冷凍ボックス内温度セン サ異常	運転継続または運転 停止(クーリング中温)
E3	- 点灯 - 除霜表示灯 が点滅	除霜センサ異常	運転継続
P1	点滅	冷媒高圧異常または低圧 異常	運転停止

■ 故障診断のしかた

約 5 秒間有効なスイッチ操作が行われない場合は、チェックモードが解除され冷凍ボックス内温度表示に戻ります。

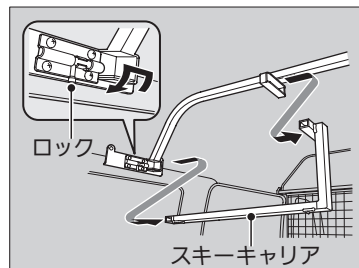
■ 冷凍機を常用しないとき

コンプレッサーの故障を防ぐため、1 週間以上冷凍機を使用しないときは、ときどきエンジンを低回転させた状態で 5 分以上慣らし運転を行ってください。

スキーキャリア*

■ 脱着

■ 取り外すとき



ロックを外し、スキーキャリアを右にずらして外します。

■ 取り付けるとき

取り外しの逆の手順で行います。

■ 脱着

⚠ 注意

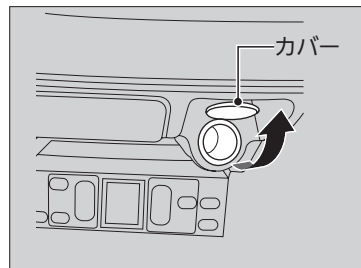
スキーセットをひもなどで必ず固定する。
固定していないと、走行中にスキーセットが落ちたり飛び出すことがあり危険です。

積載許容荷重を超えた荷物は載せない。
積載許容荷重は約 30kg (前後各約 15kg) です。これを超えた荷物をのせるとキャリアが破損したり、荷物が落下し危険です。

脱着するときは、ロックに手などをはさまないように注意する。

ロックは確実に戻す。
キャリアの破損や、荷物の落下につながります。

アクセサリーソケット



エンジンスイッチがⅠまたはⅡのときに使用
できます。
カバーを開けて使います。

■ アクセサリーソケット

**Honda 純正の電気製品の電源を取り出すのに
使用します。**

消費電力 120W (10A) 以下のアクセサリに、
直流 12V の電源を供給します。

**Honda 純正品以外の電気製品の電源を取り
出さないでください。**

バッテリーあがりやアクセサリーソケットの破損
の原因となります。

■ アドバイス

シガレットライターは差し込まないでください。
発熱するおそれがあります。

バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがか
かっている状態でご使用ください。

冷凍機の点検

点検整備項目			点検整備時期			
			日常点検	6ヶ月ごと	12ヶ月ごと	24ヶ月ごと
冷凍機	冷媒量	冷媒量点検窓の気泡の有無	○	○	○	○
		ガス漏れ			○	○
	コンデンスユニット	フィン部の目詰まり、変形		○	○	○
		モーターの異音の有無、回転状態		○	○	○
	コントロールパネル	ON/OFFスイッチ、DEFスイッチの作動	○	○	○	○
		運転表示灯、表示部の正常作動	○	○	○	○
	クーリングユニット	フィン部の目詰まり、変形		○	○	○
		モーターの異音の有無、回転状態		○	○	○
		ドレンホースの変形、外れ、つぶれ		○	○	○
	取付け部	ゆるみ、ガタ		○	○	○
	コンプレッサー	オイル漏れ、作動状態		○	○	○
	コンプレッサーブラケット部	ブラケットの破損		○	○	○
		ボルトのゆるみ		○	○	○
	マグネットクラッチ	異音の有無、作動状態		○	○	○
	高低圧ホース	ホースの外れ、損傷、ふくらみ		○	○	○
	ワイヤーハーネス	カプラーのゆるみ、ハーネスの損傷			○	○
	アイドルアップ	作動状態			○	○

※ レシーバーは、冷凍サイクル開放時に交換してください。

■ 日常点検

コントロールパネル、クーリングユニットおよび冷媒量の点検は冷凍機を作動して行います。下記の項目を確認してください。

■ **ON/OFF**を押したとき

- 運転表示灯が点灯し、画面に冷凍ボックス内温度が表示されること
- 冷凍機用クーリングユニットのファンが回り、冷気が出ること
- 冷媒量点検窓を見て、気泡が確認できること

■各部の名称 P.2

▶ 確認方法の詳細は、ACTY VAN オーナーズマニュアルをご覧ください。

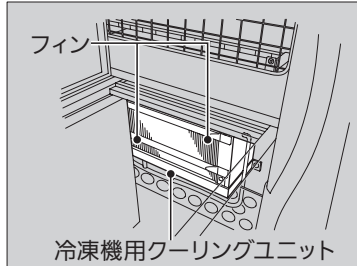
■ **DEF**を押したとき

- 霜取りが、冷凍ボックス内温度が 0° C 以下のときに作動すること
- 除霜表示灯が点灯すること

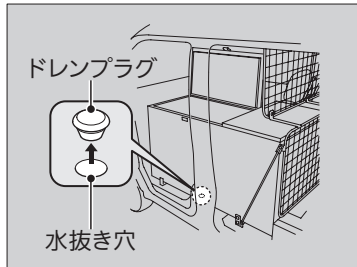
日常のお手入れ

■ 清掃のしかた

冷凍ボックス内を清掃するときは、中性洗剤で汚れを落とし、柔らかい布などで拭きとります。



冷凍機用クーリングユニットにほこりが付着すると性能に影響します。ブラシ等で定期的なほこりを取り除いてください。



■ 水抜き穴

冷凍ボックス内を水洗いするときは、あらかじめドレンプラグを外して、水を車外に出してください。排水後は、水抜き穴にドレンプラグを取り付けてください。

■ 日常のお手入れ

⚠ 注意

清掃するときは、必ず冷凍機を停止させてから行う。

感電やけがをするおそれがあります。

指や棒などを冷凍機用クーリングユニットに入れない。

アドバイス

冷凍機用クーリングユニットには水をかけないでください。故障の原因となります。

冷凍ボックスの外側、断熱材に水をかけないでください。断熱材に水が浸入し、故障の原因となります。

冷凍機用クーリングユニットのフィンの部分は変形しやすいので、荷物を積むときや清掃するときは気をつけてください。

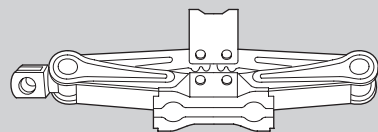
■ 清掃のしかた

走行中は必ずドレンプラグを取り付けてください。冷却効果が低下します。

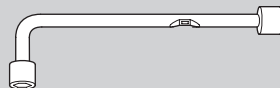
万一の場合には

工具の種類

工具の取り出しかたは、ACTY VAN オーナーズマニュアルをご覧ください。



ジャッキ



ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)



アイボルト (けん引用)



ジャッキハンドルバー



メガネレンチ

■スペアタイヤ

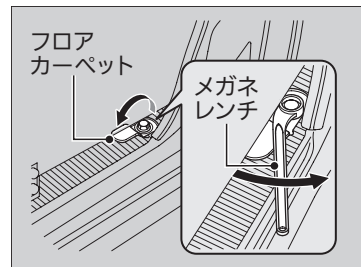
⚠ 注意

固定ボルトをゆるめすぎない。

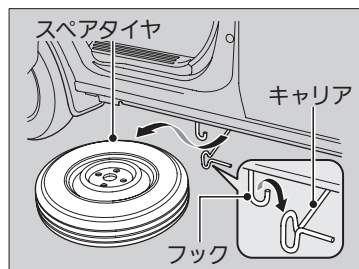
フックが固定ボルトから外れ、キャリアが落下し、足などにけがをするおそれがあります。

スペアタイヤ

■外しかた

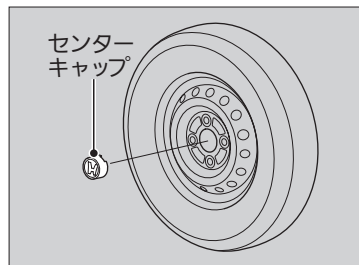


1. フロアカーペットをめくりメガネレンチで固定ボルトをゆるめる。

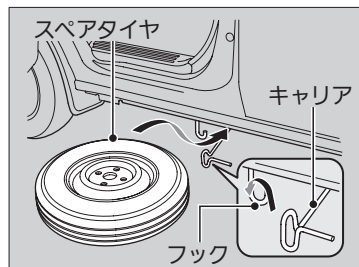


2. フックからキャリアを外し、スペアタイヤを引き出す。

■ 収納のしかた



1. パンクしたタイヤのセンターキャップを外す。



2. ホイール表面を上にして取り付け、フックにキャリアをかける。

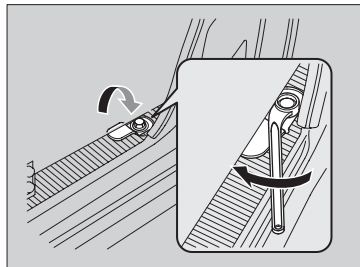
■ スペアタイヤ

⚠ 注意

タイヤを取り付けた後は、確実に固定されていることを確認する。

ゆるみ等により取り付けが不安定な状態になっていると、走行中に外れるなどして思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

取り外しや収納するときに、手などをはさまないように十分注意する。



3. メガネレンチでゆるみ、ガタがないように固定ボルトを十分に締め付ける。

冷凍機が作動しないとき

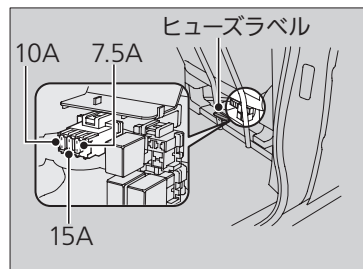
冷凍機が作動しないときは、車のバッテリーを点検してください。

バッテリーがあがっていないときは、エンジンスイッチを $\boxed{0}$ にして、ヒューズが切れていないか確認します。

ヒューズが切れていないのに冷凍機が作動しないときは、装置の故障が考えられますので、本田技研工業(株)法人営業部指定の保守店または(株)デンソー指定のサービスステーションで点検を受けてください。

❖夜間、休日のお問い合わせ先 P.13

ヒューズの点検と交換



■ 運転席シート下のヒューズボックス
運転席シートの下にあります。

ヒューズの装備と容量

装備	容量
庫内 FAN	10A
冷凍システム	15A
RAD FAN CHECK	7.5A

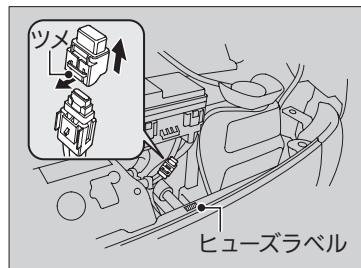
❖ヒューズの点検と交換

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。同じ規定容量のヒューズがない場合は、規定容量の小さいヒューズに交換してください。

交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、本田技研工業(株)法人営業部指定の保守店または(株)デンソー指定のサービスステーションで点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量の予備ヒューズと交換してください。



■フロントコンパートメント内のサブ ヒューズボックス

ツメを引いてカバーを外してください。

■ヒューズの装備と容量

装備	容量
冷凍システム	30A

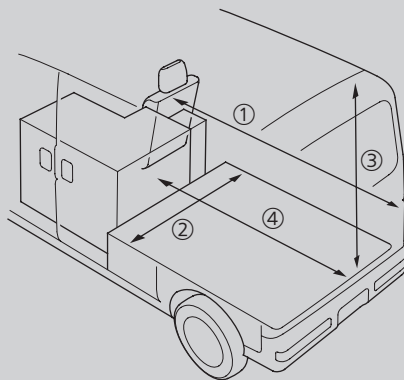
ヒューズの点検と交換の詳細は、ACTY VAN オーナーズマニュアルをご覧ください。

仕様

バッテリー	容量 / タイプ	32AH(5)/44B19L	
コンプレッサー	潤滑オイル	推奨オイル	ND-OIL8
		規定量	0.35ℓ
乗車定員	1名		

■ カーゴスペース寸法図

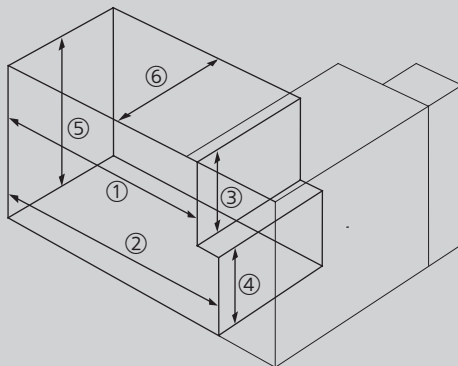
- ① : 1,710mm※
② : 1,240mm
③ : 1,200mm
④ : 1,370mm



※フロントシートが一番後ろで背もたれを最も立てた状態の寸法です。

■ 冷凍ボックス内寸法図

- ① : 700mm
- ② : 860mm
- ③ : 260mm
- ④ : 270mm^{*}
- ⑤ : 530 mm^{*}
- ⑥ : 410 mm



※スノコを取り外した状態の寸法です。

最適輸送温度

■ 冷凍機の種類

低温用が装着されています。
使用温度範囲：－22 ～ +35℃

■ 冷凍ボックス内温度の設定

積荷の種類により、次ページの表を参考にして設定してください。
冷凍ボックス内温度が積荷の最適輸送温度と異なる場合には、積荷の品質が劣化するおそれがありますので十分注意してください。

■ 食品などの輸送適温例（最適保持温度）

適用		温度帯									
品目	輸送適温 (℃)	-20	-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20	
冷凍食品	アイスクリーム	—									
	冷凍果実・濃縮ジュース	—									
	冷凍魚類	—	—								
	冷凍肉		—	—							
	冷凍ハム		—	—							
生鮮肉類	加工肉					—	—				
	生肉					—	—				
	ブロイラー					—	—				
	卵					—	—				
	ラード・ソーセージ					—	—				
	燻製ベーコン								—	—	
	塩漬ハム								—	—	
乳製品	マーガリン					—	—				
	チーズ					—	—				
	ミルク・生クリーム					—	—				
魚介類	バター						—	—			
	生魚・かき					—	—				
	燻製魚類						—	—			

適用		温度帯									
品目	輸送適温 (℃)	-20	-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20	
生鮮果実類	ぶどう・りんご					—	—				
	さくらんぼ・すもも					—	—				
	メロン・梨類					—	—				
	オレンジ・もも					—	—				
	パイナップル					—	—				
	レモン・バナナ							—	—		
生鮮野菜類	西洋まつたけ					—	—				
	アスパラガス					—	—				
	野菜類					—	—				
	生花類					—	—				
	ポテト					—	—				
	たまねぎ					—	—				
	さつまいも・かぼちゃ							—	—		
	トマト							—	—		
菓子類	イースト					—	—				
	はち蜜					—	—				
その他	チョコレート・キャンデー							—	—		
	フィルム・医薬品					—	—				

資料

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、本田技研工業（株）法人営業部指定の保守店で点検を受けてください。

保守店がご不明なときは、下記の本田技研工業（株）法人営業部納車サービスセンターへお問い合わせ下さい。

本田技研工業株式会社 法人営業部納車サービスセンター

048-452-0248

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、車両番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離 ③ ご購入年月日 ④ 販売店名